

個(一人ひとり)が かがやく ぬくもり のある学校

令和8(2026)年 2月号

松西っ子 だより

「命を大切にする子 よく考えやりぬく子 みとめあい高めあう子」

松原市立松原西小学校

松原市新堂5丁目57

072-332-0130



学校 HP
更新中



「二月はにげる」

校長 山森 篤

まもなく「立春」、暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。登校時、ポケットに手をいれて歩く子、白い息を吐きながら友だちとの話に夢中な子、この時期ならではの子どもたちの姿を毎日見ることができます。

さて、学校生活もいよいよまとめの時期となりました。この1年を振り返ると、子どもたちは日々の学習や行事、友だちとの関わりを通して、少しずつ、そして確実に成長してきました。自分の思いを言葉で伝えようとする姿や、友だちの話に耳を傾ける姿に、成長を感じる場面が増えています。また自分たちより小さい子と目線を合わせ、やさしく接することができる場面も多く見てきました。

一方で、うまくいくことばかりではなく、思い通りにならないこともあります。心配されたこともあったかと思います。しかし、その一つひとつが子どもたちの大切な経験となり、次へ進む力につながっています。わたしたちは、そうした過程を大切にしながら、今後も子どもたちを見守っていきたいと思っています。

「1月はいく」、「2月はにげる」、「3月はさる」と言われます。きっとあつという間に2月も終わり、3月を迎えることでしょう。残り少ない今の学年での生活を大切にしながら、子どもたちが次の学年へ自信をもって進めるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

寒さや感染症が心配な季節もあります。学校では引き続き、体調に配慮しながらの教育活動を進めてまいります。ご家庭におかれましても、日々の体調管理をお願いいたします。

子どもたちの笑顔あふれる学校となりますよう保護者の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

2月の予定

1	日	市ドッジボール大会
2	月	児童委員会 1・2年14:15下校 3年6時間授業
3	火	児童朝会 全学年13:15下校 3年読み聞かせ
4	水	全学年13:15下校
5	木	マラソン記録会(9:50~11:50) 4年生河合小との交流
6	金	B時程 1・2年14:20下校 3~6年15:15下校 マラソン記録会予備日
7	土	10:00 スポーツ交流会(Teamプレイス) 河合小芝生
8	日	
9	月	縦割り活動
10	火	B時程 1・2年14:20下校 3~6年15:15下校 群読朝会(5・6年) 2・5年生河合小との交流
11	水	建国記念の日
12	木	B時程 1~6年15:15下校
13	金	3年生 河合小との交流 放課後学習
14	土	10:00 あそぼう会(太鼓)
15	日	
16	月	スクールカウンセラー(SC)来校
17	火	たてわり遊び
18	水	4~6年5時間授業 14:10下校
19	木	6年生 河合小との交流
20	金	参観(5時間目3年 6時間目5年) 放課後学習
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	B時程 1・2年14:20下校 3~6年15:15下校
25	水	クラブ 1年読み聞かせ
26	木	参観(5時間目1年 6時間目6年)
27	金	参観(5時間目2年 6時間目4年) 6年三小交流 放課後学習
28	土	



3月の主な予定

3月12日(木)	お別れ集会	16日(月)	卒業式予行
17日(火)	6年給食最終日・卒業式準備		
18日(水)	卒業式	19日(木)	給食最終日
24日(火)	修了式・閉校式		

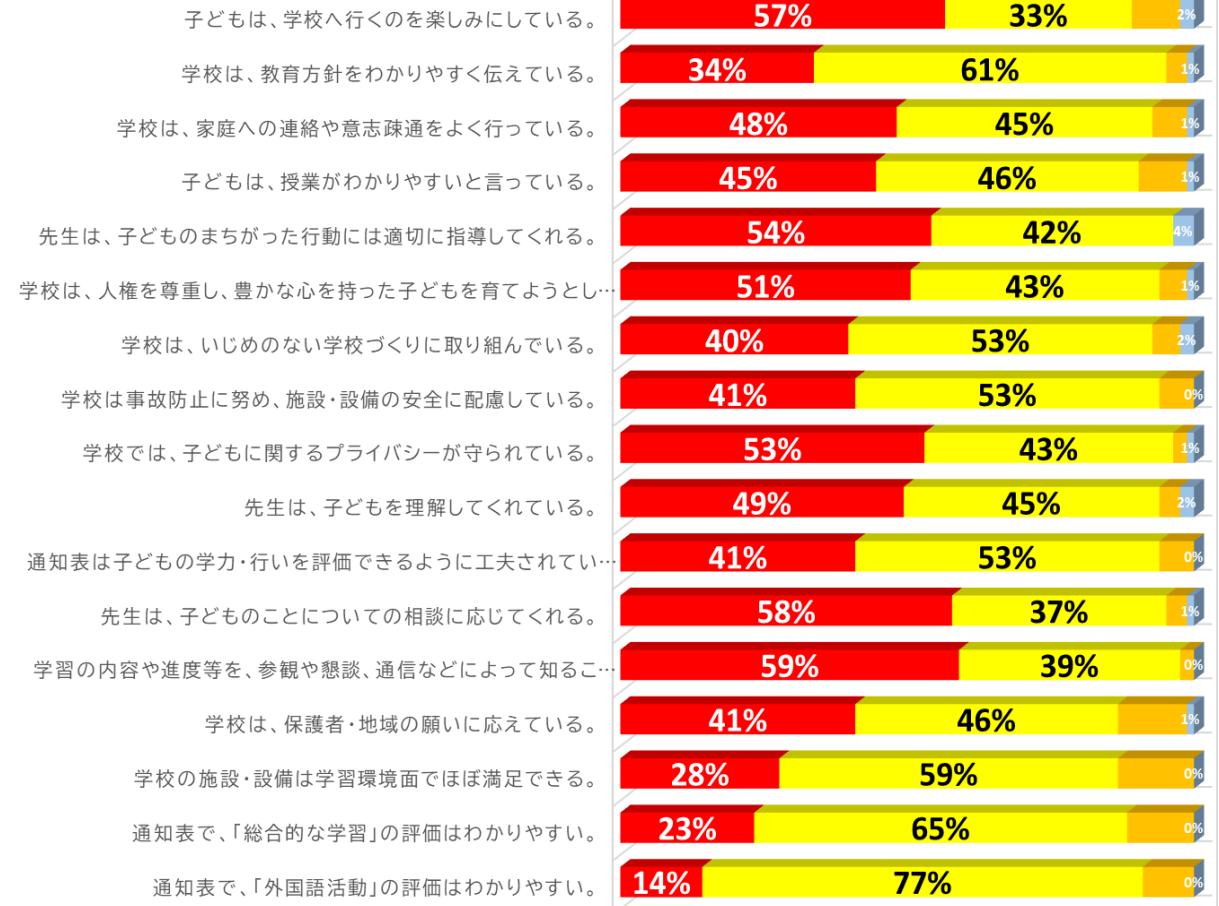


令和7年度 学校教育アンケートについて

お忙しい中、学校教育アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございます。以下にその結果を報告させていただきます。

保護者アンケート

■そう思う ■どちらかといえばそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない

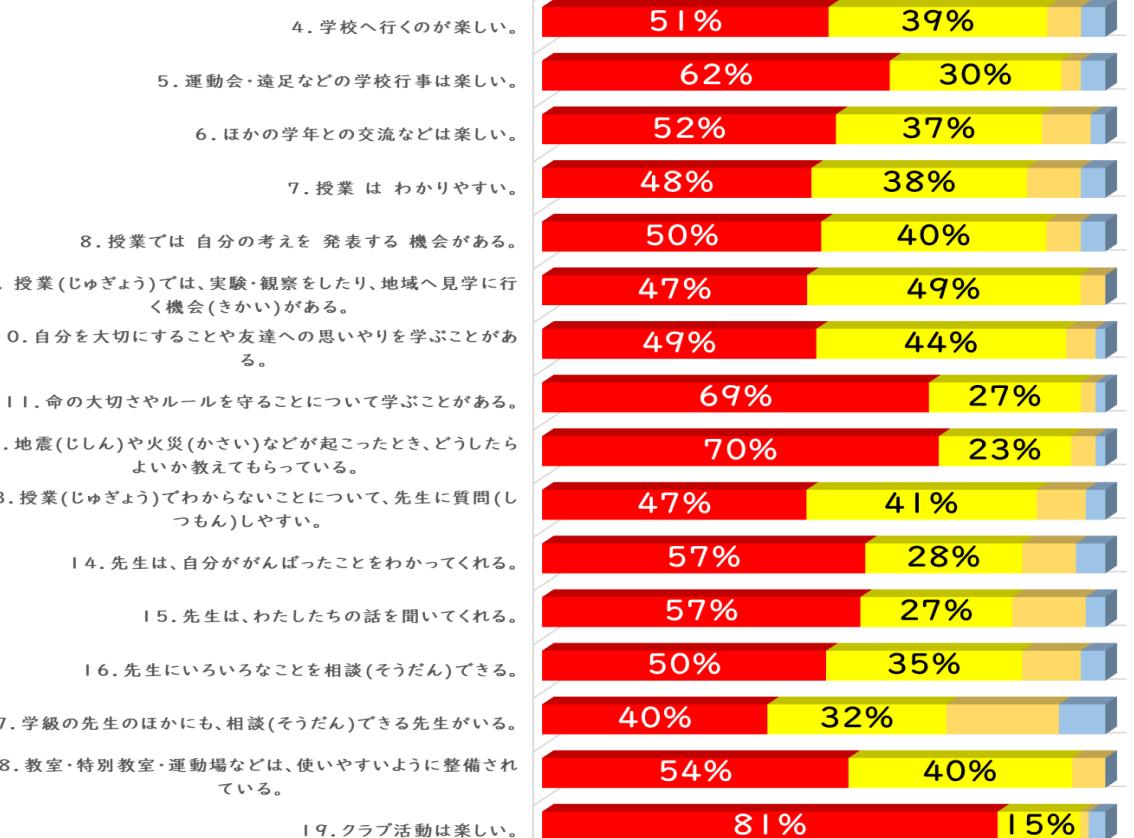


保護者アンケートではどの項目も概ね9割前後の肯定的な評価をいただきましたが、強い肯定（グラフの赤い部分）の数値が低く、課題だと思われる項目は、「学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる」（28%）があります。次年度統合し、施設・設備に関しては令和8年度と令和9年度において大規模な改修工事が入ります。また、統合に向けての改修もありますのでその中で改善していきます。

学習評価（通知表など）については、新しい学校づくりの中でもよりわかりやすくお伝えできることについても考えていきたいと思います。

児童アンケート

■そう思う ■どちらかといえばそう思う ■あまりそう思わない ■そう思わない



児童アンケートにおいても9割前後の肯定的な答えが多かったのですが、「学級の先生のほかにも相談できる先生がいる」は72%となっていました。次年度複数のクラスになった際に、安心して学校生活を送れるように、学校・学年として子どもたちにかかり、支援することを大切にしていく必要があると考えております。

自由記述の欄にも、「着替えに関すること」、「教員の子どもへのかかわり方や指導にすること」などのご意見もいただきました。また「次年度の統合に関して子ども自身がモヤモヤした気持ちが拭いきれていない様子があること。西小を卒業したかった子どもたちの想いの子もいることを知っていてほしい。」といったご意見もいただきました。このうち、すぐに取りかかれることについてはすでに対応したものもありますが、これから学校づくりにいかすべき内容のものもあると捉えています。また統合に対して子どもたちがさまざまな気持ちを抱いていることを前提に、4月以降の学校づくりを進めていくことが重要だと考えております。

学校教育アンケートへのご協力をいただきましたみなさまに感謝申し上げます。

